

科目名	人間学特殊ゼミ II E (自殺学)	学 期	後期	単 位 数	2	担 当 者	森崎雅好
副題	-						
ナンバリング	N2-10-286	授業方法	講義	実務経験の有無	有	関連DP	1,2,4

授業の目的と概要

日本は、国連加盟国の中でも自殺率が高い国であり、依然として自殺者数が高水準で推移している。近年、自殺に関する認識が高まり、自殺対策基本法が制定され様々な対策が講じられるようになった。この授業では、自殺に関する基本的な知識を身につけ、自殺防止のためにできることについて考える。

授業の到達目標

自殺に関する知識を持った上で自殺を志向する心理を理解し、共感しようとする姿勢を身につけている。

授業計画

1. 日本における自殺の現状
2. 世界における自殺の現状
3. 自殺についての理論①精神分析的視点
4. 自殺についての理論②認知論的視点
5. 自殺についての理論③対人関係論的視点
6. 自殺と精神障害
7. 自殺と自傷
8. 自殺対策①：危機介入
9. 自殺対策②：予防的介入
10. 自殺対策③：事後の対応
11. 自殺とメディア
12. 自殺とインターネット
13. 自殺と文化
14. 自殺と社会
15. 講義内容の総括と振り返り

準備学習（予習・復習）・時間

事前学習として、配付資料に目を通し、自身の疑問点、意見などを整理しておくこと（90分）、

事後学習として授業で学んだ内容に関して復習をし、疑問点などが解消されているか確認をしておくこと（90分）

テキスト

講師作成の講義プリントを配布する。

参考書・参考資料等

厚生労働省『自殺対策白書』該当年度版を使用。その他講義中に適宜紹介する。

学生に対する評価

レポート評価（100%）

ループリック（目標に準拠した評価）

- (C) 自殺に関する基本的な知識を身につけている。
- (B) 自殺を志向する心理について理解している。
- (A) 自殺に関する知識を持った上で自殺を志向する心理を理解し、共感しようとする姿勢を身につけている。
- (S) 自殺に関する知識を持った上で自殺を志向する心理を理解し、共感しようとする姿勢を身につけ、かつ、自殺に関する諸問題について自身の意見を述べることができる。

課題に対するフィードバックの方法

質問や意見については、毎回の授業内でフィードバックを行う。課題レポートには講師からのコメントを付し、返却を行う。

その他

実務経験のある教員が行う授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業内容か）

臨床心理士・公認心理師・スピリチュアルケア師（指導）・認定臨床宗教教師として実務経験を持つ専任教員により、自殺防止の活動現場での実践活動の現状及び自殺に関する研究から得られた知見や自殺防止に関する法律・施策について講義し、自殺という現象を理解しようとする姿勢や態度を身につけさせる。